

社協 鶴二だより

(川崎・三ツ池・各務原町)

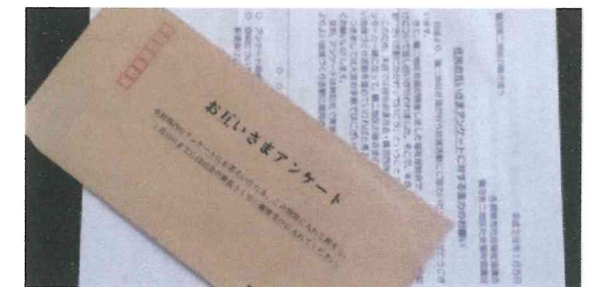
「ご協力のお礼」

鶴二地区社協

会長 伊藤 浩



平成二十八年一月に各自治会へお願いいたしました「住民お互いさまアンケート」において皆さまのご協力のもと、私どもの予想を大きく上回る一〇三八枚を回収することができました。この調査は原則無記名でしたが、「手伝える」とお名前を記入して提出していただいた方が七〇名を超え、鶴二地区の「地域で支える」という意識の高さがよくわかる結果となりました。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後の鶴沼第二地区社会福祉協議会の活動に反映させていただきます。



住民お互いさま アンケート速報

【調査方法】
各自治会を通じて各世帯へ調査票配布
【調査時期】
平成二十八年一月一日
～一月三十一日
【配布枚数】
三九五六枚
自治会加入全世帯
(平成二七年四月時点)

【回収枚数】
一〇三八枚
【回収率】
二六・二四%

調査結果 (左面参照)

アンケートの分析結果には、左面以外にも「地域別」「年齢別」「世帯別」等多くの視点から実施されましたが、紙面の都合上省略しました。

【手伝ってほしいこと】

- 一位 草取り
- 二位 見守り
- 三位 家具の移動

【手伝えること】

- 一位 郵便物の投函
- 二位 電球の交換
- 三位 ゴミ出し

(手伝えること)の中の件数トップは「定年後であれば手伝えます」であったことも興味深い。
アンケートの回収後、「手伝ってほしい」と書かれてあった中でも非常に困りご様子一七名の方々には、早急に手助けの必要性

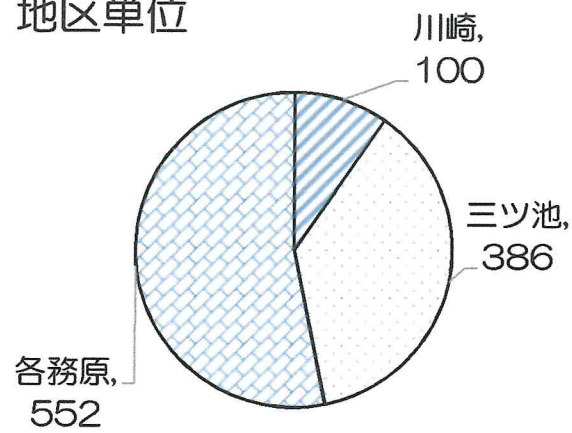


岐阜各務野高校での開封整理作業

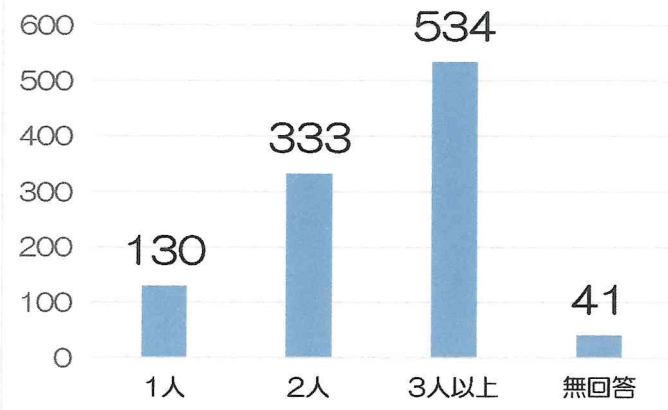
今後の展開

調査結果を受けて、さる二月二十六日に市社協・市介護保険課・中部学院大学・岐阜各務野高校ボランティア活動部・民生委員児童委員・地域包括支援センターの方々を交えての会議を持ちました。今後もこのような地域団体と連携を取りながら地域での見守り、支えあいの体制をつくっていきたく考えます。

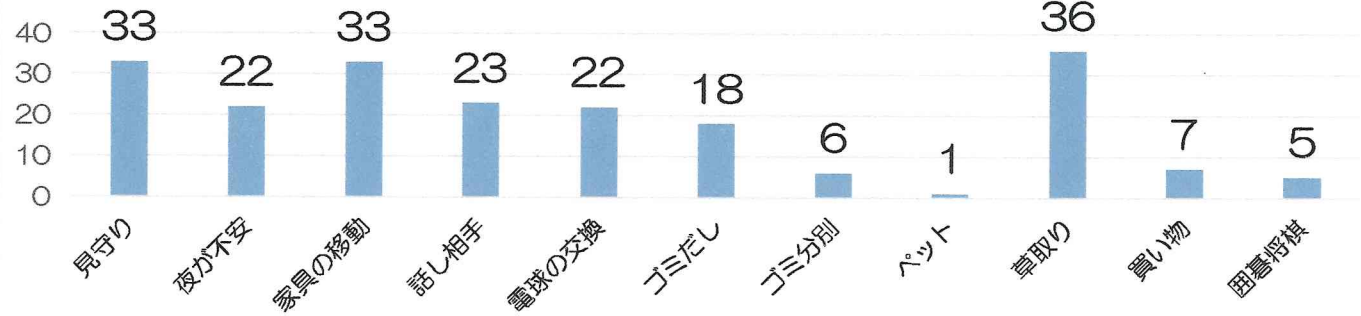
地区単位



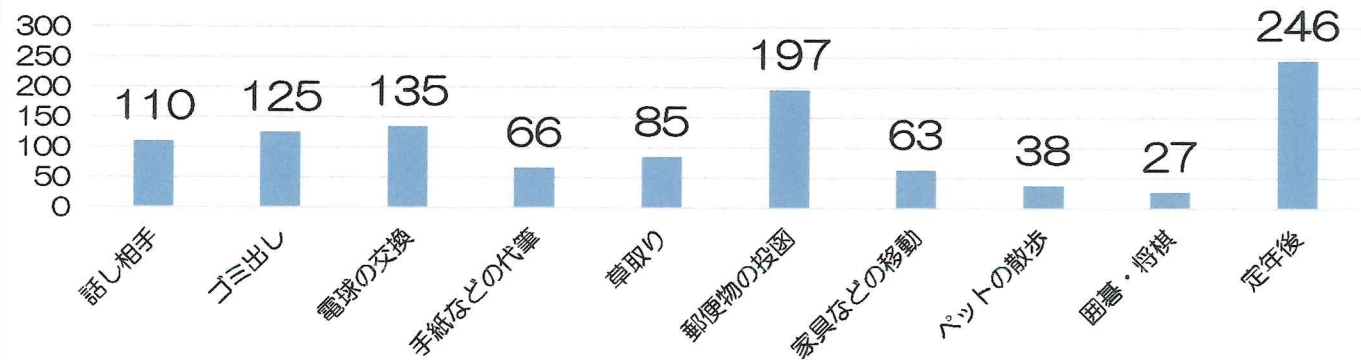
世帯人数



手伝ってほしいこと



手伝えること



【手伝ってほしい自由記述】

- ・庭木の剪定が大変です。
- ・今はいいですが、いつかお願いしたいです。
- ・近くの息子が助けてくれています。
- ・災害時などに助けてほしいです。

など

【手伝える自由記述】

- ・網戸の張り替え
- ・パソコンによる文書作成
- ・現在は仕事をしているが定年後はお手伝いがしたい
- ・簡単な木工修理ができます。

など

・シルバー人材センターでは、65歳以上の要援護高齢者台帳登録者に、電球の交換など「ワンコインサービス」を行っています。
詳しくは 市役所高齢福祉課 058-383-1779まで。
・地域包括支援センターかかみ野では、話し相手を行うボランティアグループ「傾聴ボランティア 羽うさぎ」というグループがあります。詳しくは 058-384-8844まで。
・各務原市社協ボランティアセンターでは、施設ボランティアやマジックなどの一芸を披露していただけるボランティアを募集し、紹介をしています。詳しくは 058-383-7610まで。